

おひさま

2023. 9
Vol. 11

北茨城市民病院・北茨城市民病院附属家庭医療センター・訪問看護ステーション



高帽山を望む風景

☆7月7日七夕の行事食を提供いたしました☆

栄養給食室



星型の人参とおくらをのせ、天の川をイメージした七夕そうめんを提供いたしました。

主菜には、梅風味に味付けをしたアジの香り揚げを提供し、季節感を感じていただける1品にいたしました。みなさまの1日も早いご快復をお祈りいたします。

- 7月7日七夕行事食について…①
- 残薬について…②
- 乳がん検診を受けましょう…②

- 北茨城市消防本部便り
「119番映像通報始まりました(ライブ119)」…③
- 連携医療機関のご紹介「こまつ歯科医院」…④
- 茨城小児リハの会によるセラピストの学校
訪問指導事業…④

残薬について 薬務室

近年、服用薬の残薬調整が多くみられます。残薬とは手持ちのお薬が残ってしまうことです。その理由は、自分で調節して服用したり、入院期間があったり、飲み忘れであったり、中止期間があったり、と様々な理由があります。調剤薬局にて残薬調整を行うことは、医療費の無駄を軽減することで医療費の削減にも寄与しています。しかし、服用されるべきお薬が残ってしまっていることは、治療上問題でもあります。



私たち病院薬剤師や医師においては、残薬に至る経緯がわからず、日数調整しているのが現状です。その理由を明確にすることで対応できることも多いのです。自分で調節して良いお薬と調節しては良くないお薬があります。正しいお薬の知識を薬剤師として患者様に理解していただく努力も必要です。飲み忘れに対しては、飲みやすい時間に飲んでもらえるよう服用回数や服用時間の変更も可能です。また、服用しづらい場合は、お薬の形を変更できる薬剤もあります。服用錠数が多い場合は配合錠など複数成分が1つになったお薬もございます。残薬を少なくすることに薬剤師として関わっていくことが重要です。かかりつけ調剤薬局に残薬をお持ちいただければ、薬剤師が日数調整や不要薬剤の整理をさせていただきます。是非、薬剤師にご相談ください。医師との間に入って、より良いお薬の服用・治療のお役に立っていきます。

「乳がん検診を受けましょう」

放射線室

がん全般に言えること、それは早期発見・早期治療です。早期乳がんは90%以上治ります。がんを早い時期に発見するためには、毎日の自己検診に加えて、「マンモグラフィ」などの画像検査による乳がん検診を定期的に受けることが大切です。マンモグラフィは、触診では診断できない小さなしこりや、しこりになる前の石灰化した微細な乳がんの発見に威力を発揮し、乳がん検診で唯一有効性が証明された検査法です。



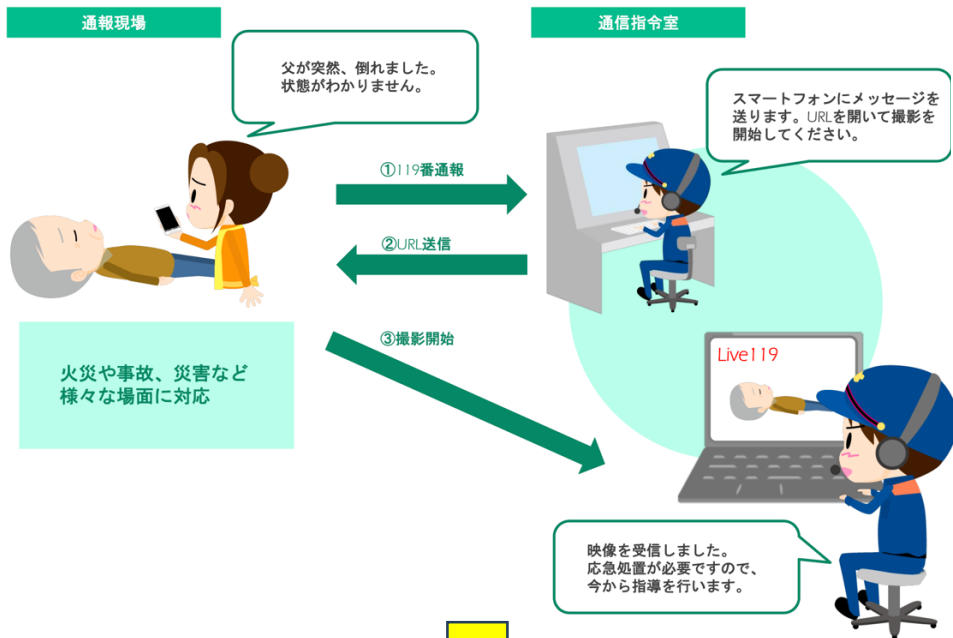
乳房X線検査装置(マンモグラフィ)

優れた検査にも関わらず、人に乳房を見せなくてはならないことや乳房を挟まれて痛いという理由からか北茨城市でも受診率は低いままです。当院ではマンモグラフィは必ず女性の技師が担当し、乳房の圧迫も耐えられる範囲で様子を伺いながら行っています。撮影自体は5分程度です。

乳がんは50歳前後に罹患の最大ピークがあり、60歳代に第2のピークがあります。2人に1人ががんに罹る時代です。他人事と思わずに早期発見のため、ぜひ乳がん検診を受けましょう。

○ 北茨城市消防本部 便り ○

119番映像通報システムが始まりました (ライブ119)



市ホームページ



スマートフォンから119番通報者に動画の送信を依頼し、救急隊到着前に現場の映像を指令センターで受信、確認できるシステムです。迅速な情報把握や、正確な口頭指導を実現し、より確実な救急活動に繋げることができます。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

※映像送信料は通報者負担となりますのでご了承ください。

連携医療機関のご紹介

こまつ歯科医院 院長 小松 栄一 先生



当院は平成4年10月に大津港駅前に開院し今年で32年目に入ります。診療はう蝕、歯周病、入れ歯などの一般歯科治療や小児歯科治療を主におこなっております。

市内で唯一の口腔外科がある北茨城市民病院との連携としましては、高度の外科処置を要する患者様や基礎疾患があり全身管理下での治療を要する患者様など当医院では治療困難な場合に紹介させていただいており、旧北茨城市立病院の時からお世話になっております。

80歳になっても自分の歯を20本残そうと言う8020運動があります。この実現のためには超高齢化社会の現代においては地域の歯科医院と北茨城市民病院口腔外科との連携した治療が必要です、今後ともよろしくお願ひします。



【診療のご案内】

- 診療時間 午前 9:00～13:00
午後 14:30～18:30 (土曜のみ14:30～16:30)
- 休診 木曜日午後、日曜日、祝日、年末年始

	月	火	水	木	金	土	日
午前	●	●	●	●	●	●	-
午後	●	●	●	-	●	●	-

- 住所 茨城県北茨城市大津町北町1-7-9
- TEL/FAX 0293-46-7232 (FAXも同じ)

茨城小児リハの会によるセラピストの学校訪問指導事業

リハビリ室

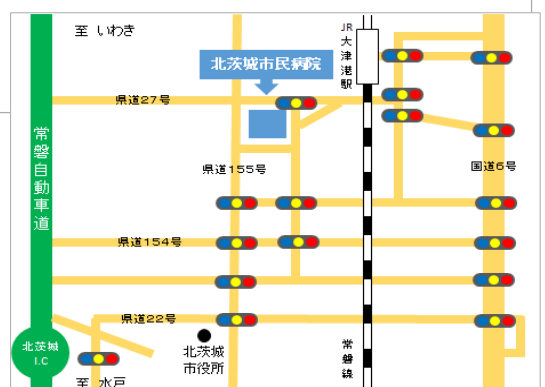
令和5年7月6日(木)に当院の言語聴覚士が茨城小児リハの会によるセラピストの学校訪問事業に講師として参加しました。当事業は「障がいのある児童生徒の学校生活等における手立て等について、必要に応じて指導助言等を受け、指導内容・方法等の工夫・改善を図り、学校教育活動の充実に資する」を目的としています。

当日は、生徒に対し構音障害について個別指導行いました。その際、担当教諭にも参加頂き、構音障害についての理解を深めてもらいました。



言語聴覚士 佐藤

※構音(こうおん)障害:音を作る器官やその動きに問題があつて発音がうまくできない状態



- 発行 北茨城市民病院
〒319-1711
茨城県北茨城市関南町関本下1050番地
TEL 0293-46-1121 FAX 0293-46-6526
URL <https://kitaibaraki.info/>
- 発行人 事業管理者 田淵崇文
- 編集 北茨城市民病院広報委員会